

『e - とぴあ・かがわ (情報通信交流館)』

ご案内

2004.11.11

・ 計画と取組方針

・ 事業概要

・ 開館から半年を経て

計画と取組



1. サンポート高松の概要について



1. シンボルタワーの概要について

階数

タワー棟：地下2階、地上30階

ホール棟：地下2階、地上7階

敷地面積：13,051㎡

建築面積：10,603㎡

総延床面積：102,930㎡

アクセス

JR高松駅より徒歩1分

高松空港より車で35分

そこは、人々が集い、交流し、憩う場所。

シンボルタワー概要

建築概要

建築面積：10,603.48㎡
延床面積：102,843.27㎡


内訳

- 専有面積 60,430.03㎡
 - 香川県 10,051.67㎡
 - 高松市 22,077.65㎡
 - 民間 28,300.71㎡
- 駐車場 17,060.48㎡
 - 公共駐車場(県・市) 9,165.68㎡
 - 民間駐車場 7,894.80㎡
- 共用面積(駐輪場を含む) 25,352.76㎡

階数：(高層棟)地下2階、地上30階・塔屋1階
(低層棟)地下2階、地上7階・塔屋1階
高さ：(高層棟)151.3m(アンテナを除く)
(低層棟)44.8m

施設の配置

29F/30F 展望レストラン、展望スペース(30F)
9F~28F 賃貸オフィス、SOHOグレイズ、
カルチャースクエア、ウェルフェアスクエア
8F 屋上庭園
1F~7F 新市民会館、国際会議場、
ユニバーサルスペース、情報通信科学館(仮称)、
国際観光情報センター、かがわ情報プラザ、
パスポートセンター、リサーチアンドビジネスセンター、
店舗等
B1F/B2F 附置義務駐車場・駐輪場、機械室等



2 . e- とぴあ・かがわの概要について

○高松シンボルタワー高層棟 4階及び5階

○専有面積 約3,330m²

○2つのテーマ

- ・県下の高度情報化の推進拠点
- ・高松サンポート地区の賑わいの創出

○3つの機能

- ・情報化の普及啓発
- ・情報化時代を担う人材の育成
- ・情報化による集いと交流の創出

○スケジュールと課題

- ・15年度：室内整備業務
- ・16年度～25年度：維持管理・運営業務
- ・BOT方式
- ・年間10万人以上の動員

1. 共に学び、考え、行動しながら成長する
活動体づくり
2. “共育”による「自分発見」「地域発見」
3. “共育”活動による、より安全・快適で
優れた地域社会づくりへの貢献



e-こぴあ・かがわ

見つけよう！新しい自分 広がる仲間
あなたが“主役”のワクワクステーション！

一般的な文化施設

地域の文化
歴史/民俗
芸術/科学 等

文化施設
ミュージアム

利用者

e-とぴあ・かがわ



地域社会

情報通信交流館

パートナーシップ

利用者



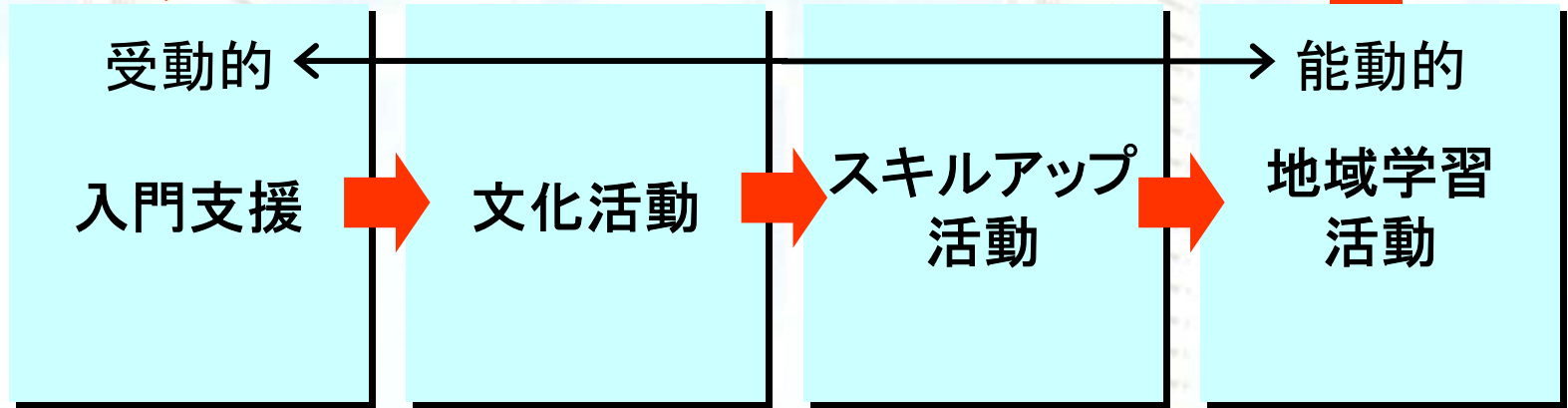
魅力発見・課題発見



課題解決への貢献

“共育”施設としての事業活動

ネクスト・ステージ



企画展・講座・交流イベント・施設利用サービス

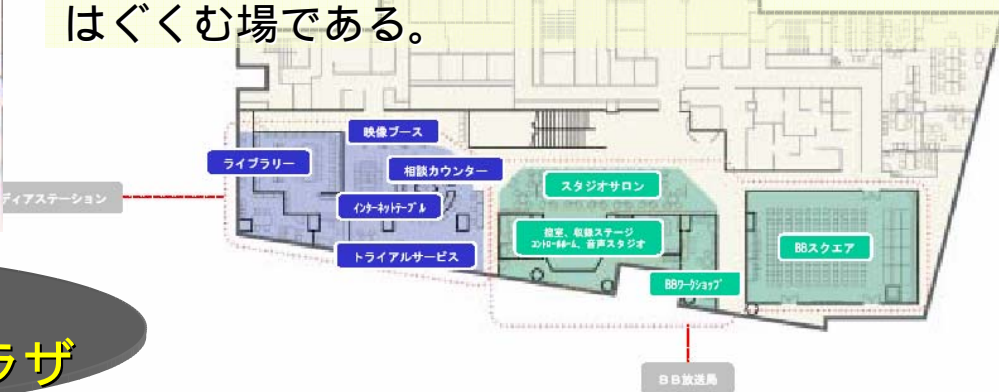
活動成果の時空間データベース化
時空間データベースを活用した地域学習プログラム

ブロードバンド放送局を活用した効果的な広報・普及

3. フロア構成



ブロードバンド放送局やライブラリーを実践的に活用することで、情報コンテンツの創造性をはぐくむ場である。



5 F フロア 思索・創造・発表のプラザ

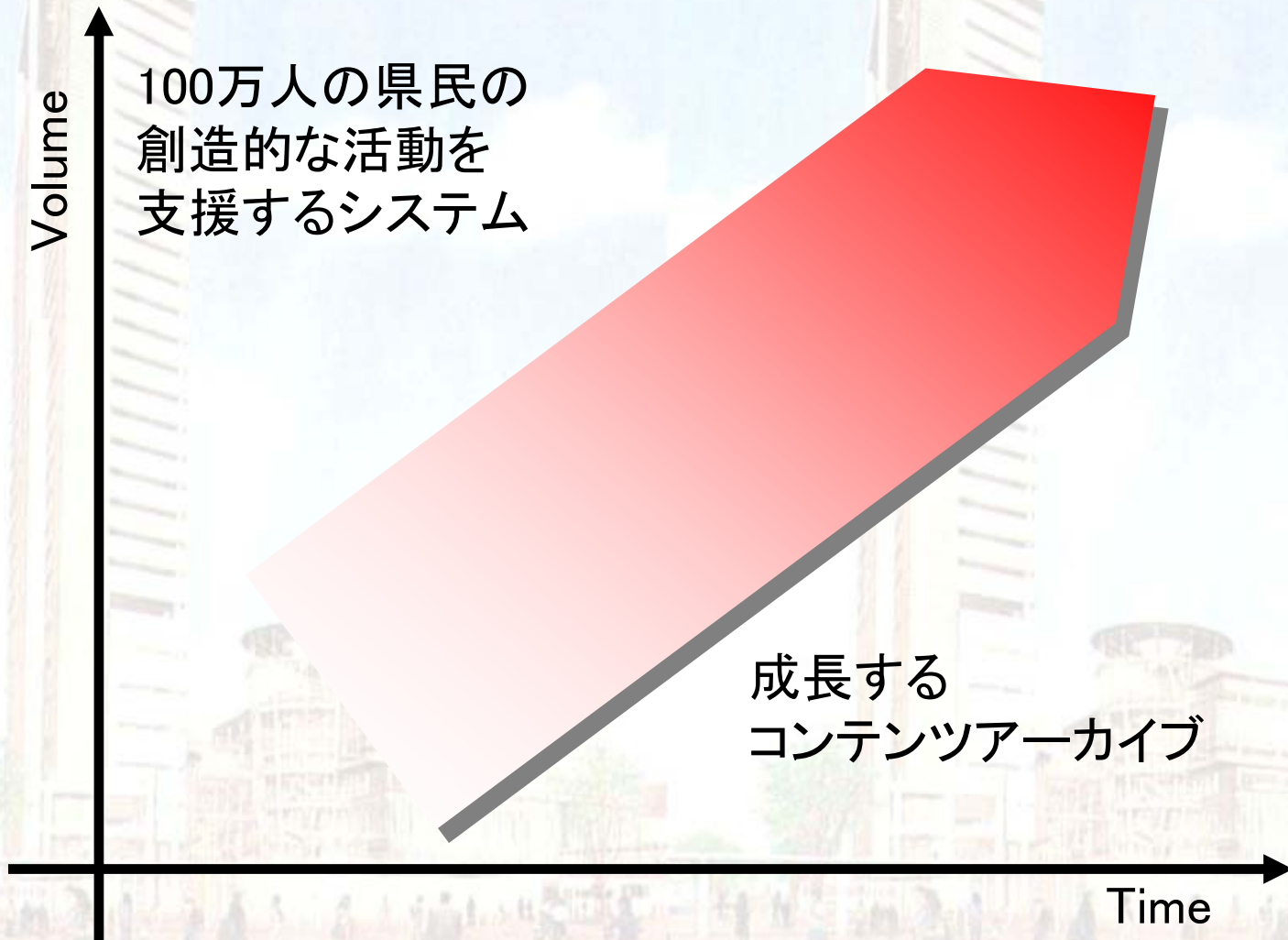
4 F フロア 出会いのプラザ



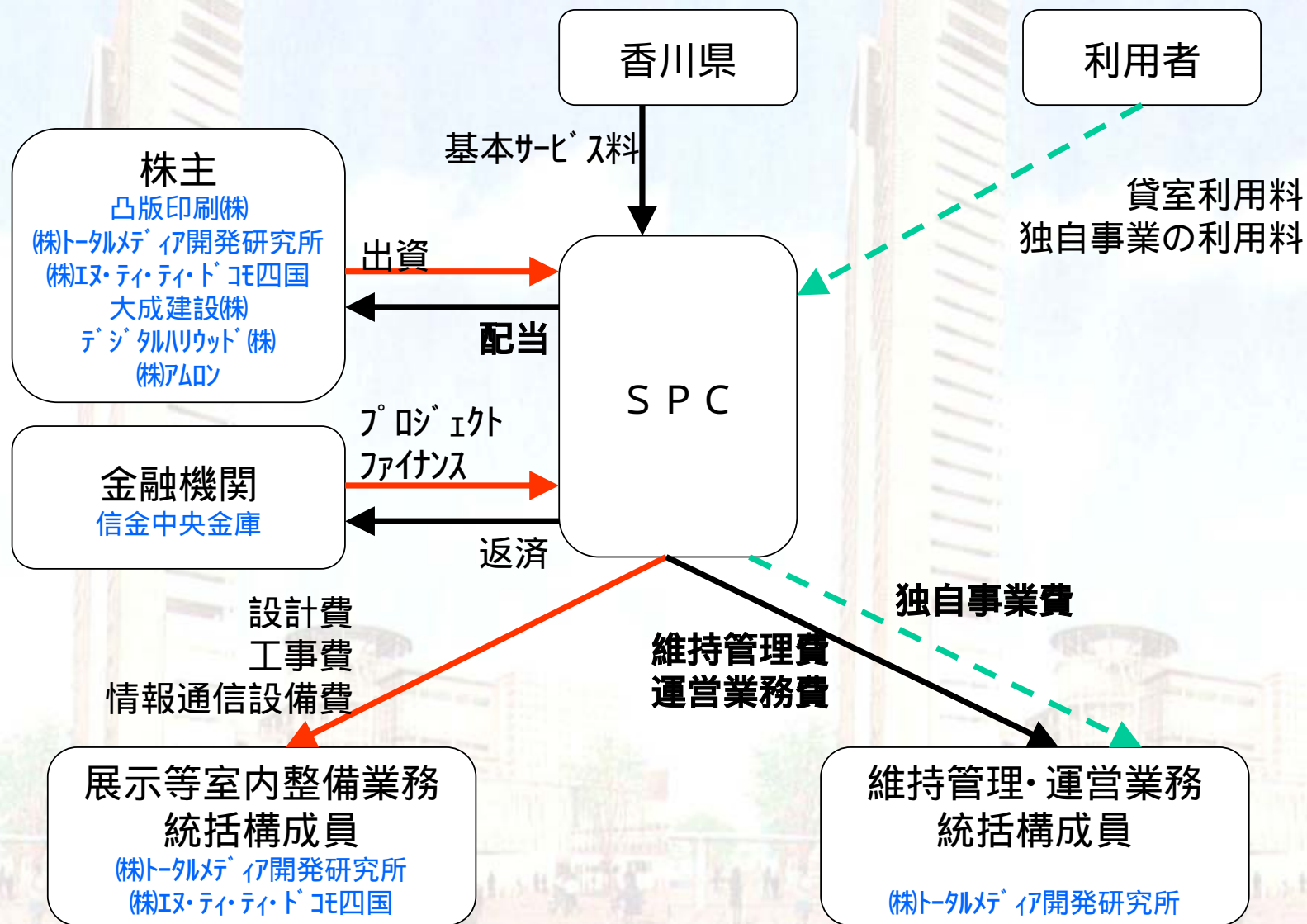
はじめて情報通信と出会い、興味を喚起するステージであり、共に楽しみ学ぶ仲間との出会いの場。



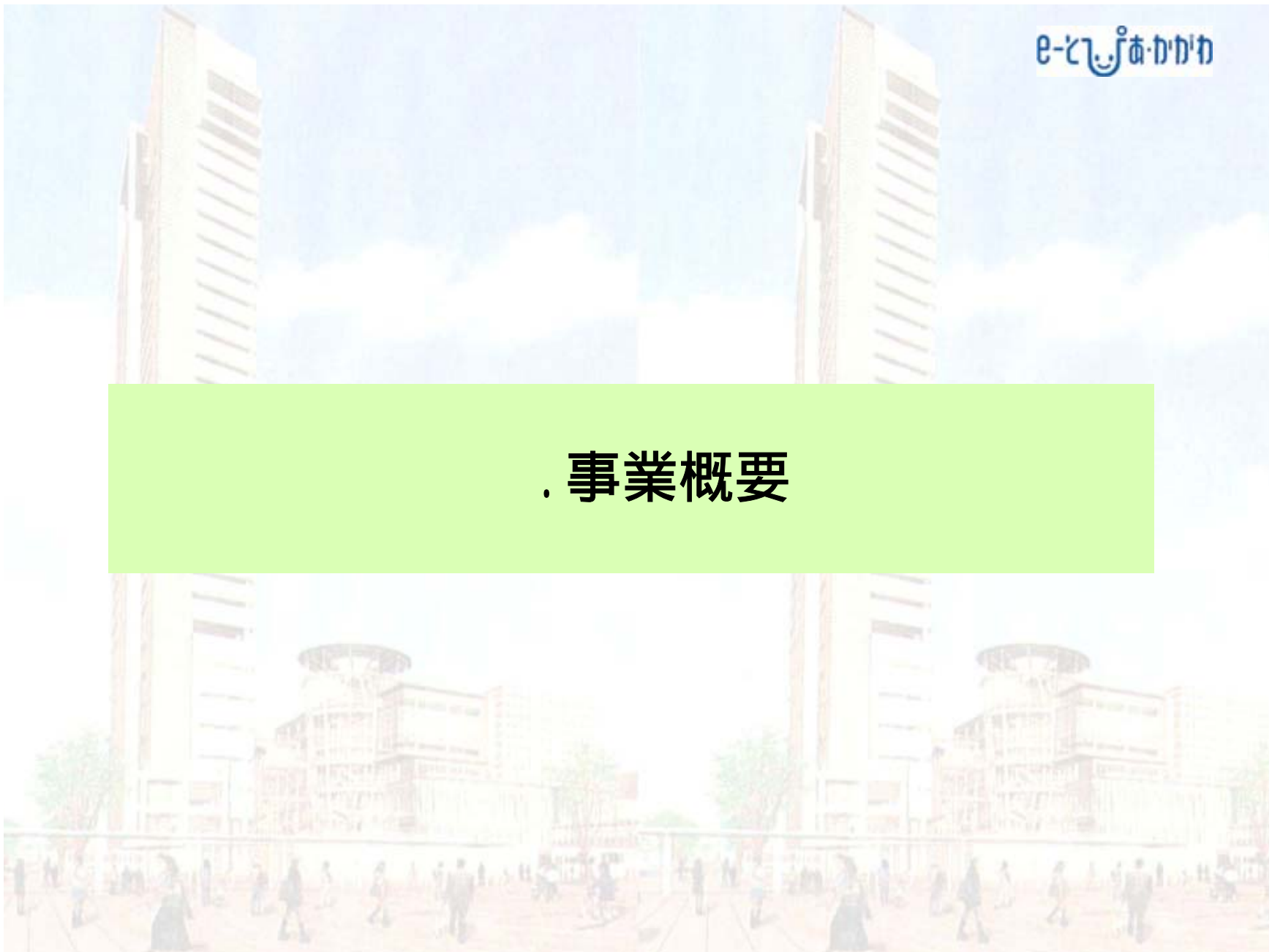
4. 活動とともに成長発展するe-とぴあ・かがわ



5. 事業スキーム



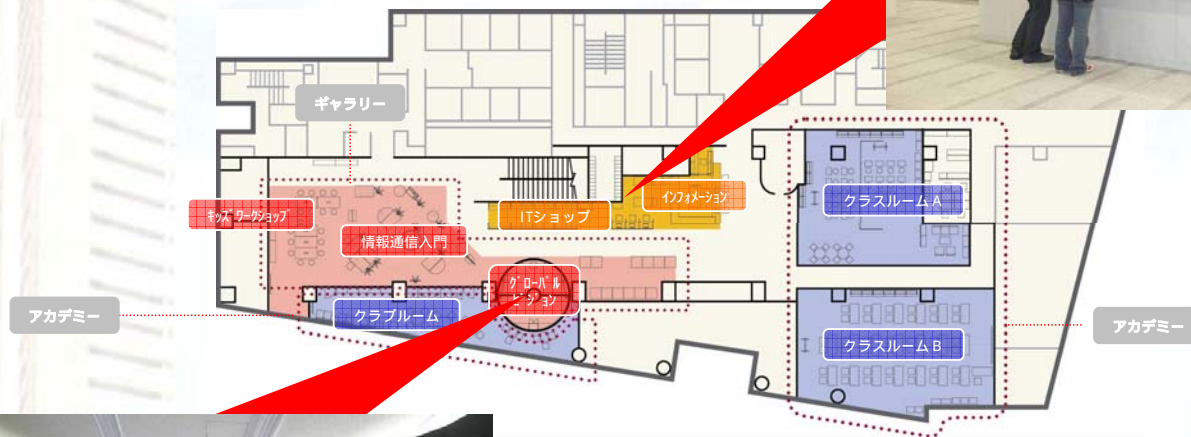
. 事業概要



1. 施設概要 (室内整備業務)

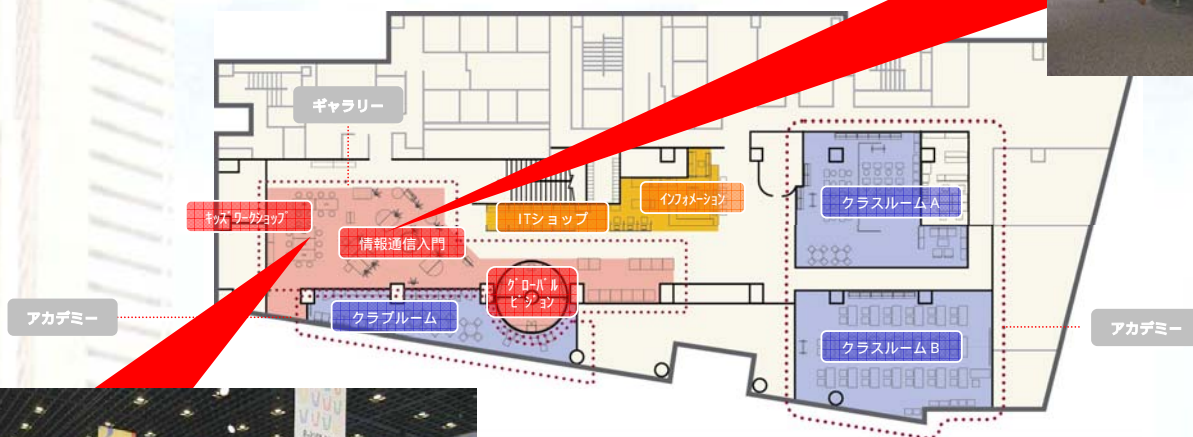
4 F

○インフォメーション
・インフォメーション
& ITショップ



○ギャラリー
・グローバルビジョン

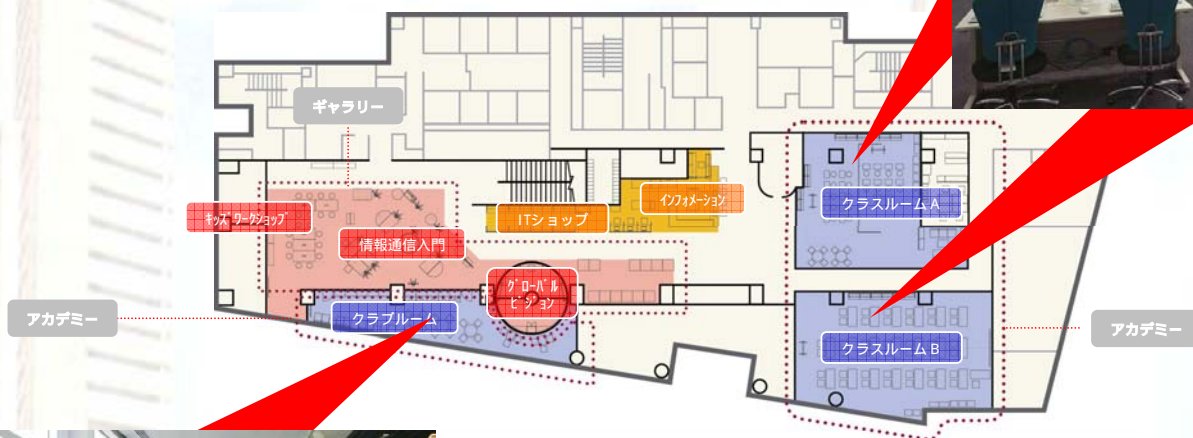
○ギャラリー ・情報通信入門



○ギャラリー ・キッズワークショップ



○アカデミー
・クラスルーム(A・B)



○アカデミー
・クラブルーム

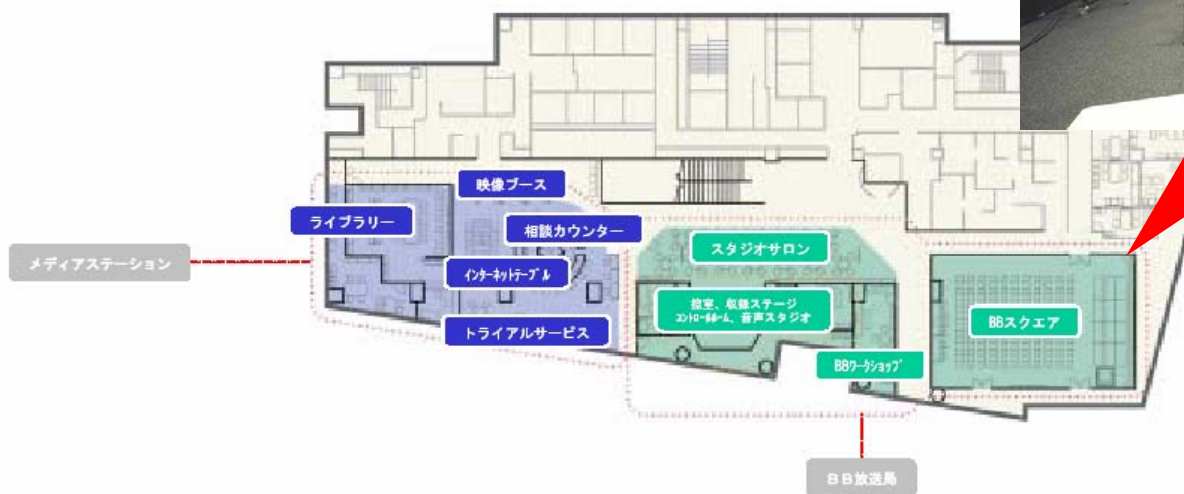


- メディアステーション
- ・相談カウンター
- ・トライアルサービス



- メディアステーション
- ・ライブラリー
- ・インターネットテーブル

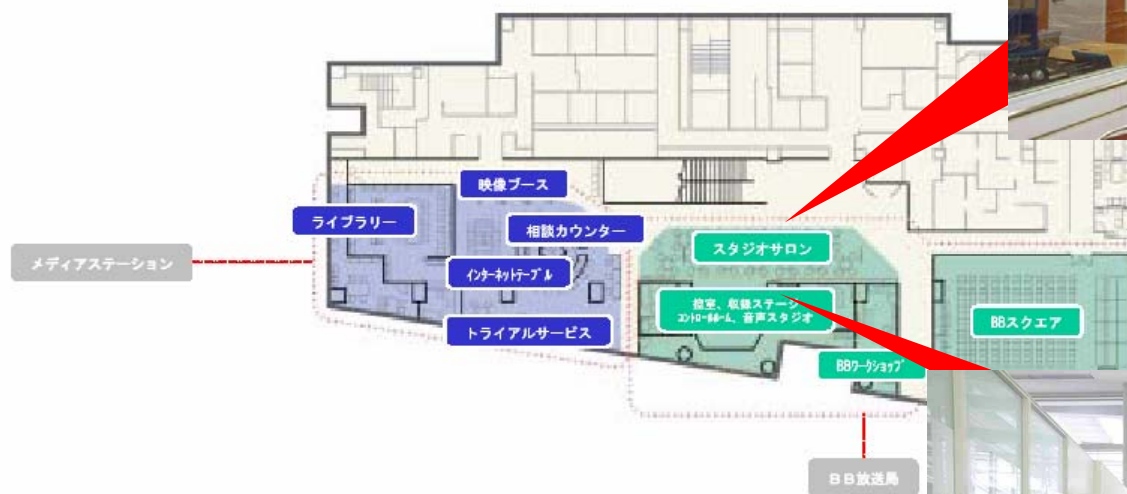
○ブロードバンド放送局 ・BBスクエア



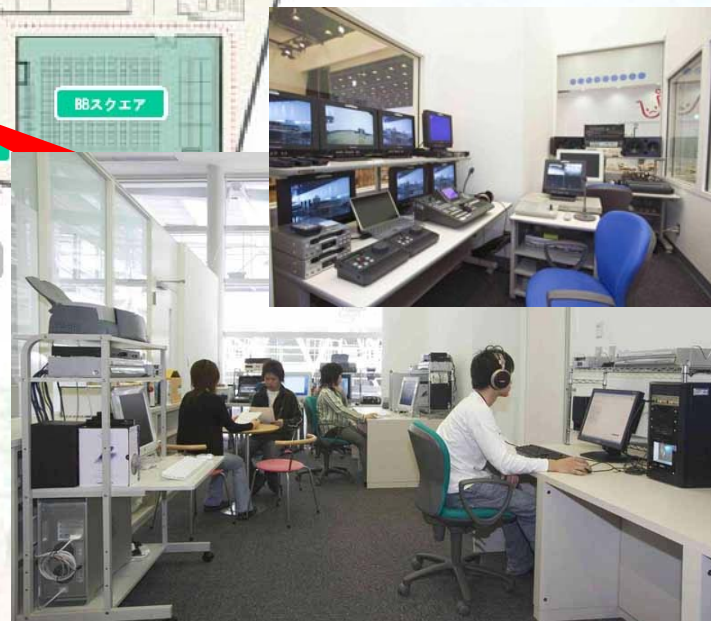
5 F

e-7.jp かんかん

○ブロードバンド放送局 ・スタジオサロン



○ブロードバンド放送局 ・BBスタジオ & BBワークショップ



2. 活動プログラム(運營業務)

あなたが”主役”です！

「自分発見」「地域発見」のプログラムがいっぱい！

展示

グローバルビジョン
キッズワークショップ
情報通信入門
VRスポーツ
企業展示

体験講座・クラブ活動

通常講座
その他特別講座
NPO・団体等活動支援
システムおよび施設

県民参加型 情報発信コンテンツ

まちの記憶預り所
<県民総合情報データベース>

施設利用サービス

情報通信に関する相談窓口
ライブラリー／映像ブース
試用サービス

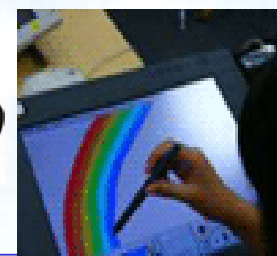
交流イベント

夏のビッグイベント
「子ども国際交流イベント」
春のビッグイベント
「情報通信科学文化祭」
ブロードバンドイベント

情報通信科学の最先端を体感しよう！



グローバルビジョン [4F]



キッズワークショップ [4F]



情報通信入門 [4F]



VRスポーツ [5F]



企画展示 [4・5F]

企業展示 [4F]

じっくり学ぼう・・・講座



子ども向け講座
(キッズ・ワークショップ)

一般向け講座
(基礎実習型)

コンピュータで絵を描こう

映像で遊ぼう

センサーロボットで遊ぼう

サウンドで遊ぼう

IT活用ライフ応用/入門講座

オリジナル絵本作り講座

IT活用ビジネス講座

地理情報システム活用講座

はじめての映像制作講座

小さな放送局立ち上げ講座

ITエディケーター養成講座

特別講座(応用参加型)



e-とぴあ・かがわを仲間同士の交流拠点に！・・・クラブ活動



イベントに参加しよう！

夏のビッグイベント「キッズワークショップ イン サマー」



春のビッグイベント「e-とぴあ・かがわ春の祭典」



ブロードバンドイベント

ブロードバンドスタジオのインターネット放送局機能を活用したイベントです。この放送局の番組制作プログラムとして、公開番組制作風で開催します。県民の皆さんに参加いただき、地域発見・地域交流・地域文化の情報発信につながるイベントとして開催していきます。

e-とぴあ・かがわを使いこなそう！

情報通信に関する相談窓口



ライブラリー / 映像ブース



トライアルサービス



レンタルスペース



クラスルーム (最大60名)



BBスクエア (最大165名)



BBスタジオ、BBワークショップ (50名程度)

3. 維持管理業務

事業者整備部分の維持管理業務

① 経常修繕業務

- ・ 日常点検と定期総合点検

② 清掃管理業務

- ・ 日常清掃と定期総合清掃

③ 設備機器・情報関連機器の運転管理業務

- ・ 館内サーバーの他、IDC、ASPの利用

④ 保安警備業務

⑤ リニューアル業務

- ・ 事業開始5年目までに 提案内容の 50%完了
- 7年目までに 80%完了
- 9年目までに 90%完了

4. 県民活動支援

(1) 県民参加プログラム

「まちの記憶あずかり所」プログラムに参加しよう



1. 「まちの記憶あずかり所」構想プラン

参加しよう!あなたの思いを永遠に残します。まちの記憶あずかり所。

地域の歴史、県民の皆さんの思い出や知識やノウハウをe-とびあ・かがわがあずかりします。ひとり一人の情報、サークルや団体の活動をまとめて県民みんなに公開する。過去・現在、そして未来に続く香川のすべての情報をデータベース化しようという壮大な試み、それを「まちの記憶あずかり所」と名づけた。

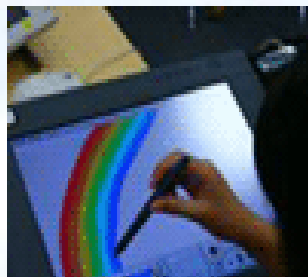


「記憶」を残す、使えるツールは4種類。



5. 県民活動支援

(2) 活動支援ツール



まちの記憶あずかり所

誰でもWEB

地図トモ

ケータイ情報局

メンバー同士のコミュニケーション

バーチャルe-とぴあ

TV談話室

グループメールサービス

電子掲示板

. 開館から半年を経て

1. 事業運営と管理運営

	要求水準	SPCの計画区分
運営業務	①企画展	事業運営
	②体験講座	
	③交流イベント	
	④貸室業務	管理運営
	⑤相談窓口開設	
	⑥試用サービス	
	⑦情報通信関連書籍の紹介・閲覧	
	⑧利用案内情報の提供業務	広報計画
	⑨来館者把握業務	管理運営
①経常修繕業務		
②清掃管理業務	管理運営	
③設備機器・情報関連機器の		
④保安警備業務		
維持管理業務	⑤リニューアル業務	事業運営

2. 開館



①オープニングセレモニー

- ・4/4(月)
- ・主催者挨拶・関係者挨拶
- ・愛称募集応募者他によるカウントダウンセレモニー



②オープニングイベント

- ・4/4(月)
- ・施設紹介
- ・オープン記念コンサート
二胡奏者 ヤンヤン氏+ピアノ奏者 進藤陽悟氏



3. 企画展



①ひろがる五感・・・“ぴ”展

・4/29～5/5

*グローバルビジョン(ぴ展バージョン)

*VRスポーツ(ぴ展バージョン)

*IPコントロールカー

*3Dコンソーシアム:最新立体視技術

*FOMAロボット

②関連イベント

トークセッション:「地球時代のメディア・デザイン」

・4/27

・京都造形大学教授 竹村真一氏

ライフスライス研究所代表 川井拓也氏



4. 体験講座



①開催概要

・4月～9月末

*延べ 244コマ (90分/1コマ)

*受講者数 2,063人 (受講率45%) (受講者÷募集人数)

②主な特別講座

・4/4～5/5 オープニング・GWスペシャル講座

・5/2 サンサン祭り実行委員会主催

“やさしいIT体験コーナー”協賛講座

・7/30～8/5 「キッズアート。自己表現の6日間！」

・9/11・12 かがわまなびフェア 2004 協賛事業

“プロが教える運動会ビデオ講座”

・9/18 青少年育成香川県民会議他主催

“ネット安全教室”協力講座

・8月～ 団体対応講座 利用増加中



5. イベント



①大型イベント

- ・7/30～8/22 e-とぴあ・かがわ 夏休みITキャンプ
 - *7/30～8/5 「キッズアート。自己表現の6日間！」
 - *8/6～8 「ミュージック・テーブル」
 - *8/10～12 「CAMP クリケットワークショップ」
「サンポート探検隊」
「紙コップアート」
 - *8/21 「エレキット ロボットづくり」
「小学生のホームページづくり」
 - *8/21～22 ネットワークカンブリアンゲーム
「アイデアの爆発実験」

②ブロードバンドイベント

- ・4/3～ FM香川“e-とぴあBBステーション”放送開始
- ・7/9～10/22 “e-とぴあBBステーション”公開収録
ゲストF末吉氏

6. 貸室

概要: 館内各室が空き室(体験講座、イベントなど館の事業として不使用)の場合、貸室として貸出が可能。

	事業契約での規定	県より指定管理者に指定後(開館後)
業務の性格	・使用料の徴収代行	・利用料金の收受(利用料金制度)
公金取扱い	・公金取扱契約の締結 ・貸室使用料として県に納付	_____
収入	・利用数比例サービス料(納付額と同額)	・貸室利用料として直接収入

利用実績:

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
利用件数		18	36	44	38	24	29	189
利用料金(円)		131,500	330,150	276,700	450,720	116,500	196,480	1,502,050
利用内容	講座型	4	9	22	19	20	18	92
	イベント型	7	20	5	13	1	2	48
	その他	7	7	17	6	3	9	49



7. 案内・相談業務

スキルと接遇(日常業務と体制)

趣旨: 本事業の目的を踏まえ、その実現のための基幹業務のひとつとして「案内・相談」業務を位置づける。具体的には本館の利用促進のための各種案内と利用者ニーズに対応した多様な質問・疑問に応えるスキルと接遇の向上に努め、来館者満足につなげる。

案内: 講座、イベント、企画展などの催物情報やメンバー、クラブ、貸室、試用などの各種利用者サービスの紹介に加え、

○団体客ニーズ(小学校の校外学習など)への対応や継続的来館が期待できる層に向けての戦略的利用体験プログラムを開発し案内

相談: PC基本操作、メール、インターネット、ワード・エクセル、ソフト試用、メンバーズールなどに関する相談(来館、メール、ファクス、電話)対応で特に、

○主要な来館者であるシルバー層・女性層など初心者向け相談対応力の向上

○スキルアップ希望者への対応力の向上



8. 広報

(1)「NEWS」「講座案内」

①「NEWS」の狙い

- ・一般広報ツール(外部)
- ・登録メンバー、リピーター【館内配布】
- ・内容:新企画、イベント、講座、活動実績、お知らせ

②発行(3ヶ月に1回) 17,000部

③「講座案内」の狙い

- ・受講者募集の基幹ツール
- ・Webに連動
- ・一味異なる内容・ラインアップ
- ・子どもからシニアまで幅広い
- ・無料・気軽に受講訴求

④発行(隔月) 20,000部

⑤配布先:

県及び県施設/市町役所/市町教育委員会/高校・小中学校/市町図書館/報道各社/百十四銀行/その他



「講座案内」Vol.1・2・3・4



「NEWS」 1号・2号

8. 広報

(2) “メルマガ”とホームページ メルマガ創刊(9月)

- ・毎月1回(来年から月2回予定)
- ・登録メンバー(約800名)に送信
- ・今後、送付先拡大

創刊号の内容

- ・主に次月の予定・情報提供
- ・ごあいさつ(創刊のことば)
- ・イベント・講座・e-とぴあ活用・サポート情報
- ・お知らせ

e-とぴあ・かがわメルマガ 創刊号
e-とぴあ・かがわ(情報通信交流館) 2004年9月29日
<http://www.e-topia-kagawa.jp>

このメールマガジンについて
このメールマガジンは、当館のメンバー登録された方、メールマガジンのお申込みを頂いた方、その他メールマガジンの購読を承認された方にe-とぴあ・かがわよりお送りさせて頂いております。

目次
ごあいさつ
イベント情報
講座情報
e-とぴあ活用講座
サポート情報
お知らせ

ごあいさつ

初めまして、「e-とぴあ・かがわ」から、メルマガ創刊号をお届けします。

ホームページの特徴

- ・県民参加ツール:「地図トモ」「誰でもWeb」「誰でもWeb学校版」「ケータイ情報局」
- ・グループ活動支援ツール:「テレビ`談話室」「電子掲示板」「グループメールサービス」

今後の課題

- ・未機能細部の早期利用
- ・お年寄りや視覚障害者への対応
- ・各団体の相互リンク



8. 広報

(3) “足”でPR——小学校キャラバン

①高松市内41小学校のキャラバン

- ・7月
- ・教頭先生と面談
- ・「体験学習」広報ツールの作成
- ・香川県歴史博物館との連携
- ・サポートボランティアガイドとの連携

②主な意見・要望点

- ・殆どの教頭先生、未来館
- ・e-とぴあ、初めて知った
- ・広報物送付のみ、伝わりにくい
- ・配布先明記(全先生、全児童等)

※校外学習で利用したい

※「ツール」を使いたい

※ハード・ソフトは、新しいものに

③校長会・教頭会

- ・高松市中学校教頭会
日時 8/17(火)14:00
場所 e-とぴあ・かがわ
内容 館PR及びPC講習会
- ・香川県小中学校校長会
香川県情報政策課より案内

④今後の課題

- ・定期的な訪問
- ・高松市以外の小中学校訪問
- ・ニーズに合った「体験学習」開発
- ・学校のカリキュラムと連携

9. 会員とクラブ制度

自律発展する“マイクラブ”

①主旨

- ・e-とぴあ「メンバー登録会員」6名以上
- ・自主的で自律的なクラブ制度

②活動イメージ

- ・気心の合ったクラブ仲間づくり
- ・仲間との交流
- ・e-とぴあのツール・システム・設備の利用

③e-とぴあクラブ会員の特典

- ・クラブルームの使用
- ・レンタルスペースの料金割引
- ・ITツールの活用
- ・入会金・会費の免除
- ・e-とぴあ事業への参加

※現在：10クラブ＝約100名



e-とぴあ・クラブのロゴ



クラブメンバー

10. 運営サポーター

年代を超えたボランティア

①募集方法

- ・ホームページ、チラシ

②応募と採用

- ・応募者：9名
- ・個人面接、全員採用

③活動費(謝礼)

- ・交通費・昼食費相当
- ・半日(3時間～)：800円
- ・全日(6時間～)：1,500円

③多才な運営サポーター(現在9名)

年代	人数	担当業務
20代	1(男)	5F. MS、ワークショップのアシスト
30代	3(男)	5F. MS、体験講座のアシスト
〃	1(女)	4F. ギャラリー(KWS)を中心
40代	2(女)	4F. ギャラリー(KWS)を中心
60代	2(男)	4F. グローバルビジョン中心、全般

④今後の課題

- ・“顕彰制度”の制定
- ・増員の検討：イベント対応
体験型団体アシスト
- ・新企画等の支援



11. 入館者数

4月～10月の入館者数累計

年 月	入館者数
2004年 4月	13,049
5月	24,876
6月	9,623
7月	10,448
8月	10,978
9月	6,583
10月(10/30現在)	8,945
累計	84,502

- ・団体利用者増加中
- ・年間約 13～4万人の見込み

12. 新たなニーズ

(1) 校外学習と団体来館

① 来館実績と予定

H16. 10. 23現在(一部予約含む)

月	区分	見学型団体来館				体験型団体来館				合計			
		団体数	人数	小計		団体数	人数	小計		団体数	人数	小計	
4月	学校	4	148	9	285	0	0	0	0	4	148	9	285
	一般	5	137			0	0			5	137		
5月	学校	3	231	15	461	0	0	0	0	3	231	15	461
	一般	12	230			0	0			12	230		
6月	学校	1	5	13	287	0	0	0	0	1	5	13	287
	一般	12	282			0	0			12	282		
7月	学校	4	180	13	390	0	0	1	30	4	180	14	420
	一般	9	210			1	30			10	240		
8月	学校	0	0	6	106	0	0	2	50	0	0	8	156
	一般	6	106			2	50			8	156		
9月	学校	2	75	7	209	0	0	1	20	2	75	8	229
	一般	5	134			1	20			6	154		
10月	学校	12	547	16	629	11	590	12	615	23	1,137	28	1,244
	一般	4	82			1	25			5	107		
11月	学校	6	367	14	875	4	221	5	241	10	588	19	1,116
	一般	8	508			1	20			9	528		
合計	学校	32	1,553	93	3,242	15	811	21	956	47	2,364	114	4,198
	一般	61	1,689			6	145			67	1,834		

② 学校の意見・要望点

- ・できるだけ学校内でできないことを体験させたい
- ・できるだけ少人数で体験させたい

12. 新たなニーズ



(2) 支援要請——「コア事業」のシーズ

① 「コア事業」選定の目的

- ・ 基本理念の具現
(「自分発見」「地域発見」「百万人の“主役”づくり」)
- ・ 館のツール・システム・設備・人材ネットワークの活用
- ・ 県内外の有識者による提案・評価
- ・ 来館の促進

コア事業選定のための活動団体ニーズ一覧表

活動団体の名称	概要	活動の概要	ニーズの要請	ニーズの要請	実施の目的	実施の目的
県立図書館協会 びとびとクラブ	県立図書館協会(びとびとクラブ)は、県立図書館の発展と読者のニーズの把握を目的として、県立図書館と読者の間に架け橋となる活動を行っています。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。
読者のニーズの把握	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。
読者のニーズの把握	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。
読者のニーズの把握	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。
読者のニーズの把握	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。	読者のニーズの把握と、読者のニーズに応じたサービスの実施。

ニーズ調査表

② 支援要請点の集約

【総合的要請】

- ・ 「e-とぴあ・かがわ」事業との連携
- ・ 施設の利用
- ・ 人材・要員の支援
- ・ 資金的支援

【技術的要請】

- ・ 館ツールの応用的活用
(個人仕様 団体仕様)
- ・ サーバ内の団体利用
(団体としての間借り)

13. モニタリング

(1)香川県によるモニタリング

趣旨:維持管理及び運營業務の各仕様や計画書に定めた性能・水準(要求サービス水準)を満たして事業者が各業務を行っているか県が確認、判断する手法。満たしていれば四半期ごとのサービス料が規定どおり支払われる。

要領:

1. 方法①日常モニタリング

- ・業務遂行状況を「日常点検チェック表」に基づき毎日チェックし、日報を県に提出。
- ・県は詳細な水準未達の判断基準に基づき確認。

②月次モニタリング、③随時モニタリング

- ・県は日報に記載された業務遂行について、業務監視、説明要求などにより確認を行う。
- ・要求水準未達があると県が判断した場合、改善について協議。

2. 内容

- ・12の基本業務を中心に、それぞれモニタリング項目及び水準未達の判断基準、報告事項を定めてあり、日報はそれらにより報告。



○「e-とぴあ・かがわ」アイデンティティの確立

- ・要求水準で規定された12業務の「消化」から「深化」へと、コアとなる事業の立案・実施(各団体からの支援・協力要請への対応スタンスなど)

○運営業務の効果・効率化の追求

- ・学習効果を高めフィードバック(ルーチン化とカスタマイズ)による選択と集中

○来館促進

- ・団体来館促進プログラムの充実

○館スタッフの一層のパワーアップ

- ・運営サポーター、クラブメンバーを加えた連携体制づくりと非常勤メンバーによるバックヤード支援

- 地域住民と行政・企業が一体となって「情報通信」のもたらす可能性を探る、日本における先導的な拠点
- 技術進歩の著しい「情報通信」分野において、時代や県民ニーズに適応した分かりやすく楽しみながら利用できる施設
- 地域のリソースを活用し、共に学び、考え、行動しながら成長する「活動体」づくりを通して、快適で安全な地域社会への貢献